

## 第37期第3回理事会議事録

日 時：2013年3月18日（月）15時25分～17時40分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席者：新野，藤谷，岩崎，神田，経田，近藤，  
佐藤(正)，塩谷，田中，徳廣，中島，藤部，  
余田，以上13名

書面による出席者：楠，郷田，佐藤(薫)，  
柴田，須田，竹見，中村(健)，中村(尚)，  
長谷川，廣岡，山田，以上11名

(理事現在数27名)

欠席者：里村，長谷部，三上，以上3名

その他の出席者：田沢，萩原，渡辺（事務局）

### 議 題

1. 第37期第2回理事会議事録の確認
2. 『1993年以前に刊行した「気象研究ノート」に関する著作権の学会への委譲についてのお願ひ』について  
標記について，機関誌「天気」誌上や学会ホームページでの一定期間にわたる広報・周知という手続きにて行うことを全会一致で承認した。
3. 2013年度事業計画について  
2013年度事業計画案が示され，支部長会議の役割の明記等事業および事業の実施体制の記述部分の一部変更のうえで承認した。
4. 2013年度収支予算について  
2013年度収支予算案が示され，全会一致で承認した。
5. 2013年度の事務局体制について  
標記について，萩原事業部長が退職すること，下道正則氏（現 気象庁高層気象台長）を新たに採用する案が理事長より示され，全会一致で承認した。
6. 日本の気象学の現状と展望について  
学術委員会にて，これまでとこれからの10-15年に焦点を当てて日本の気象学・大気科学をレビューする報告書「日本の気象学の現状と展望」の作成を終えたことが岩崎理事より報告された。また，会員から募集した意見を踏まえて改訂し，「天気」に掲載する予定であることが報告された。
7. 各支部の報告  
東北支部より，支部理事会を開催したことなどが報告された。  
中部支部より，支部理事会を開催したこと，イベント開催などにて北陸地方の活動支援の強化を検討していることなどが報告された。
8. 日本学術会議における学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン「学術大型研究計画」の公募について  
標記について，学会理事長名で2件提案することが理事長より示され，提案に向けた手順等を確認した。
9. 2013年度日本気象学会賞及び藤原賞の投票結果  
理事による投票の結果，日本気象学会賞2件（3名），藤原賞2件（2名）の候補者を受賞者と決定したことが報告された。  
日本気象学会賞  
黒田友二氏（気象研究所気候研究部）  
向川 均氏（京都大学防災研究所）  
竹村俊彦氏（九州大学応用力学研究所）  
藤原賞  
宮原三郎氏（九州大学名誉教授）  
近藤 豊氏（東京大学大学院理学系研究科）
10. 各委員会からの報告  
学術…日本学術会議主催の，科学者からの情報発信のあり方をテーマにしたシンポジウム「科学・公益・社会 一情報発信のあり方を考える一」への共催申請についての報告。共催に加わることを了承した。  
・「日本の気象学の現状と展望」に対する会員からの意見募集フォームを学会HPに掲載して対応することの報告。  
教育と普及…気象教育懇談会にて，NPO法人科学技術振興のための教育改革支援計画の大本道則理事長が講演予定であることの報告。  
・公開気象講演会および夏季大学の準備状況についての報告。今年の夏季大学は7月27，28日に横浜国立大学にて開催予定。  
国際学術交流…中国気象学会からの第6回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議における国際組織委員の選定要請に対し，新野理事長・長谷部理事・近藤理事の3名を推薦したことが報告された。  
・研究集会出席者への補助金の前期応募状況の報告。申請全てに交付する場合の補助のあり方を

検討した。

電子情報…学会刊行物を収録した DVD 作成事業についての報告。各刊行物の編集担当委員会で検討が進められている著作権委譲手続きの強化と並行して、例年通りに刊行物 DVD を作成することを了解した。

気象研究コンソーシアム…新規参加の申請内容と、全ての課題研究と終了研究の件数についての報告。

- 2013年度春季大会におけるスペシャル・セッション「気象庁データを利用した気象研究の現

状と展望」の準備状況についての報告。

#### 11. その他

公益社団法人移行後の理事の解任および後任理事の選任について、新しい定款第26条に基づき、総会の決議事項とすることを確認した。

平成25年4月10日

公益社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸